

## 今月の重点活動

### ■アグリパーク構想・みずなみ農ある暮らし実行委員会

#### アグリパーク重点推進モデル実践事業実施に向けた打合せを開催

県が実施する政策オリンピック「アグリパーク重点推進モデル」に、みずなみ農ある暮らし実行委員会が応募し、選定された。4月10日に瑞浪市役所で実行委員会が開催され、事業実施に向けた打合せが行われた。

実行委員会では、地域の農業振興を図るため、関係機関が連携し、就農相談窓口を設置し、相談体制を構築する。また、就農希望者の多様なニーズに対応できるよう、スタートアップの場として、農業体験の体験コース、家庭菜園等の栽培技術を学ぶ入門コース、農家講師による実践的な学習を行う実践コースの3つのコースで、就農を支援する計画としている。

既に運用を開始している体験コース、入門コースに加え、新たに設置する実践コースの受講者募集を行うため、入門コース参加者にアンケート調査を実施し、受講者を募ることとなった。

今後は、受講希望者との面談を実施し、栽培品目等に応じ農家講師を選定していく予定である。

農業普及課は、農業を体験、実践することができるスタートアップの場の設置やその運営を支援し、新たな生産者の育成に取り組んでいく。



【実行委員会の開催状況】

## 新たな流通ルートの開拓、販路拡大

### ■野菜・たじみ農産物直売所

#### たじみ農産物直売所運営検討会議の開催

4月22日（木）に多治見市役所で「たじみ農産物直売所運営検討会」が開催され、多治見駅前に構える農産物直売所の「駅北ファーム」の販売状況や運営状況を検討した。

検討として、令和7年度の販売額、品数および客数が前年度と比べて減少したため、出荷量拡大に向け改善が必須であった。

農業普及課から、これから定植時期を迎える夏野菜の栽培技術の指導および有害植物と食品表示の注意喚起も行うなど、今後も「駅北ファーム」の活性化に向けて支援していく。



【検討会議の開催状況】